

地域住民、関係者の意見を聞いて!

市民と歩む会 黒見節子



質問↓食育の計画・民間委託は?

答弁↓食教育の情報発信拠点として「見えて学ぶ、考える、体験する食教育」をめざす。調理洗浄は(株)東洋食品、配送は岡山県貨物運送に委託する。

質問↓今後の幼児教育は?

答弁↓公立幼稚園は、「幼児教育検討委員会」の答申を受け計画作りをする。その中で保護者、地域住民、市民の意見を聞く。民間委託する予定の保育所ごとに「ガイドライン」を策定する。

質問↓「指定管理者制度」の更新時期。

選定委員会、モニタリングは?

答弁↓選定委員会には外部の有識者等を入れて部局単位で設置運営し、障害者女性の雇用促進について、審査項目として提案していくよう努める。モニタリングに改善指導の要件を具体的に指示し、外部公表する。

「倒壊・崩壊の危険性が高い建物は四十一棟」

政津クラブ 秋山幸則



質問↓平成十九年度までに耐震診断を実施した学校と診断結果はどのようになっているのか。東小と北小は、昭和三十一年代に建築した津山市で一番古い校舎であり、建て替えるべきである。国も

補助の拡大へ動いている今、早急な対応を図るべきである。

答弁↓耐震診断は、東小、北小、西小、南小、高田小、弥生小、向陽小、佐良山小、阿波小、中正小、秀実小の十一小学校と津山東中と久米中の二中学校で合わせて十三校で実施した。その結果、四十一棟が震度六強の地震に対して倒壊・崩壊の危険性があり、対応策が必要と診断された。東小、北小は、建設後数十年の経過により経年劣化が著しいので、本年度中に適切な対応策を決めていきたい。国の補助制度拡大についても早急な対応を図りたい。

道路改良について

政津クラブ 森西順次



質問↓国道一八一号線の拡幅計画の公開(説明)が十八年九月に院庄支部町内会になされた。院庄交差点から久米に向けての測量設計の進捗状況はどのようになっているのか。久米の産業団地

へのアクセス等、西部地域のまちづくりに欠かせない道路と考えるが、市としてどのように取り組むのか。

答弁↓院庄交差点から久米に向けての測量設計の進捗状況であるが、院庄交差点から久米方面の約二百五十メートルを岡山県が交差点改良として事業化している。平成十九年に測量設計着手後、測量作業は既に終わっており、本年度は地元協議を行いながら実施設計を進めていく予定である。なお、本年度から国の補助事業にも採択されており、早期に実施設計が完了すれば、用地測量着手も予定している。

「療育と障がいのある方の自立支援」

みどりの会 佐々木裕子



質問↓四月から受け入れを増やした療育の状況は。周辺自治体の子の受け入れはできないのか。

答弁↓現在の登録数九十五名で今後受け入れ可能な人数は十五名程度。ニーズが

多く、津山市が枠を広げることは困難。質問↓県北地域の療育の枠を広げるには、具体的にどう進めたいのか。

答弁↓県民局、保健所が主管となって療育を協議している会議がある。県民局に調整してもらい体制整備することが必要。津山市も一翼を担う。

質問↓発達障害者や引きこもりの方にも障害福祉サービスの提供が必要。医師の意見書だけで支援している自治体もある。市単独でもすべきでは。

答弁↓具体的な施策ができていないのが現状。今後、国の動向を注視しながら支援を検討する。